

委分發賣者ヨリ不差廻趣ニテ手ニ入不申候間猶又
此段申進候至急御取計被下度候也 八月

追テ本又新貨幣御發行之如キハ不輕事ニ付格外
御心配被下候儀ト相考候處右様御報遲々終ニ令
日之差文ヲ生シ於當府モ深ク心痛致シ候就テハ
最前翻刻致シ候分賣私被差許候歟又ハ急速申立
之部數御差廻被下候歟何レトモ兩條御取計希望
致候也



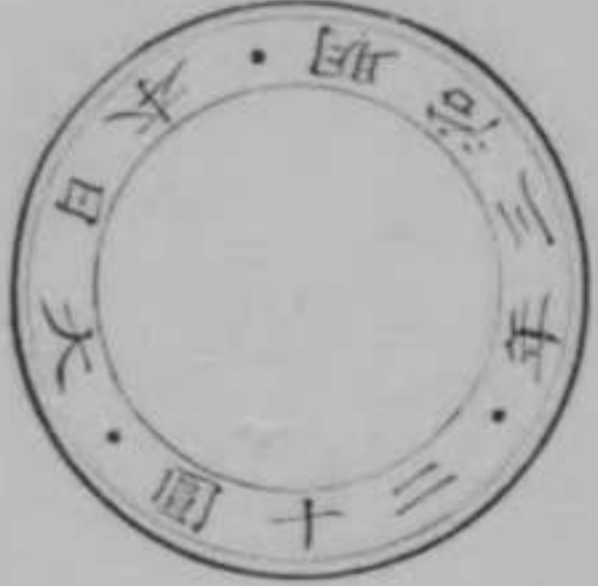
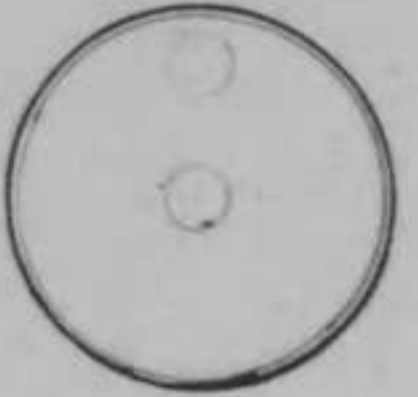

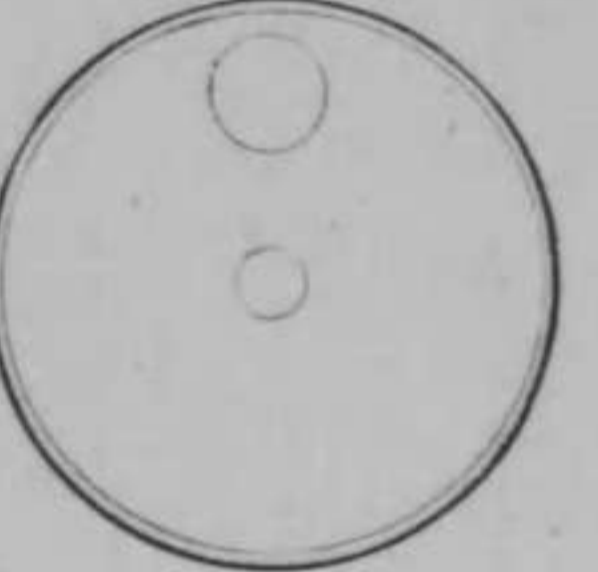
九月 日 關 四年

新貨一覽表上梓ヲ許ス

大藏省伺

先般御布告相成候新貨條例ノ儀書肆須原屋茂兵衛
并和泉屋市兵衛へ發賣差許有之候處數々摺立候ニ
付板木磨減イタシ候間再板相願度段申出候右ハ先
般相伺候通リ量目違算ノ廉及衍文ノ處更正相加へ
候上重板差許申度且浦和縣及為替方等^{ヨリ}新貨一覽
表調刻イタシ度段伺出候右表式ノ懸裁各相異リ候
テハ則紛亂ニ相涉リ可申ニ付一様ノ表式御定ノ相
成當省ニ於テ刊殺イタシ地方諸縣へ頒布相成爾後
發弘願出候者ハ右表式通リニ免許致シ候様御達シ
相成度依テ別紙表式取調是又相伺候也 九月五日

表面

本位金			新貨幣品位量目表	大藏省刊
圓五	圓十	圓十二		
			表面	
			裏面	
七分八厘七毛	九分七厘一毛	一寸一分五厘七毛	徑	
日本二分三厘八毛三五 西洋百二十八ゲレイビ六	日本四分三厘六毛七 西洋二百五十七ゲレイビ二	日本八分七厘三毛五七 西洋五百十四ゲレイビ四一	量目	
銅 九 金			性合	


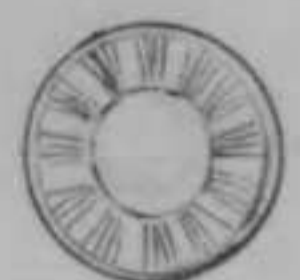

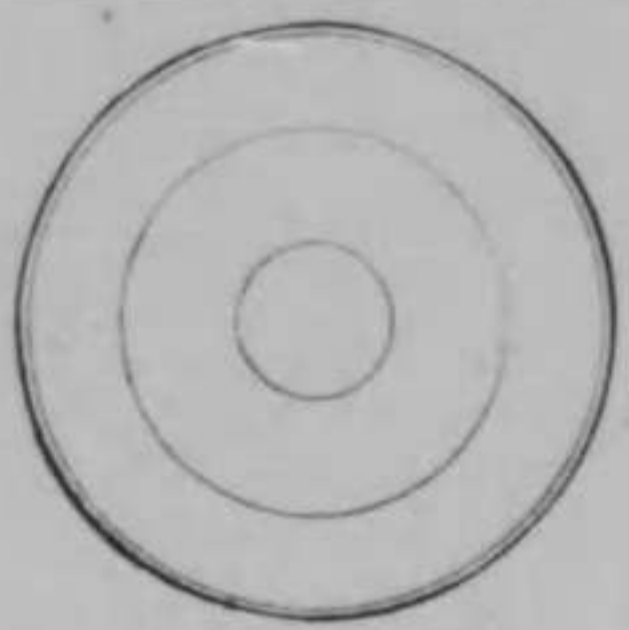
壬申五月十五日大藏省ヲ
イテ刊行第百六十七号ニ以府縣ノ達
伺之通

加
此
類
典

託
銀
課

銅		貨		銀	
錢 一	錢 五	錢 十	錢 五	錢 十	錢 十
圓一換枚百以	圓一換枚廿以	圓一換枚十以			
九分	五分	五分八厘			
日本一匁八分九厘七毛五 西洋百十ゲレイシ	日本三分三厘二毛九二五 西洋十九ゲレイシ三	日本六分六厘五毛八五 西洋三十八ゲレイシ六			
	二	銅			

位		定		貨	
錢 十 二	錢 十 五	圓 一	圓 二	圓 一	圓 二
圓一換枚五以	圓一換枚二以				
七分七厘	一寸四厘	四分四厘六毛	五分七厘七毛		
日本一匁三分三厘一毛七 西洋七十七ゲレイシ二	日本三分二厘九毛二五 西洋百九十三ゲレイシ	日本四分四厘三毛六六 西洋二十五ゲレイシ七二	日本八分八厘七毛三四 西洋五十一ゲレイシ四四		
八	銀		一		

貨		銀 易 買	
半	錢	一	圓
			
圓一換枚百二以		圓一換枚千以	
七分七厘	五分二厘	一寸二分四厘	
日本九分四厘八毛七五 西洋五十五ケレイニ	日本二分四厘一毛七 西洋十四ケレイニ	日本七多一分七厘六毛 西洋四百十六ケレイニ	
銀 九 銅 一			

裏面 造幣規則

第一條 造幣寮地金局ハ米ル六月十六日即西洋千八百七十一年第八月二日ヨリ左ニ掲載スル休日ヲ除クノ外毎日朝第十字ヨリ午後第一字マテ地金受取ノタメ之ヲ開クヘシ

第二條 萬一非常ノ變事ニヨリテ造幣ヲ休ムコト

アラハ勿論地金受取方ヲ斷ルベシ

但此場合ニオイテハ速ニ其由ヲ布告スヘシ

第三條 品位并價格トモ詳明ナル金地金并外國金

貨幣八百五拾オンストロイ凡一貫二百以上ノ高ナ

ラハ地金局長即造幣權頭直ニ之ヲ受取ヘシ

第四條 品位并價格トモ詳明ナル銀地金并日本或

每日曜日正月七日正月十日三月三日五月五日七月七日七月十四日九月九日九月廿日十月廿日

ハ外國銀貨幣ハ二千オンス凡百六十六貫五以上

ノ高ナラハ之ヲ受取造幣規則ニ從テ本位金貨ヲ以

テ拂ヒ渡スヘシ尤右地金持參ノ者一圓銀ヲ望ムト

キハ造幣寮ノ都合ニヨリテ之ヲ渡スヘシ

銀地金ノ代リハ當分ノ内純銀十六ニ純金一ノ割合

ヲ以テ拂フヘシ

第五條 品位并價格トモ詳明ナラサル金或ハ銀地

金并外國金銀貨幣ハ假ニ受取置試驗溶解ノ上分析

シテ其品位ト價格トヲ明ニシテ造幣適當ノ品ナラ

ハ之ヲ受取ヘシ

但其高金地金ハ第三條銀地金ハ第四條ト同様タ

ルヘシ尤造幣適當ノ品量ハ別テ造幣寮ニオイテ

取究ムル定則ニ從フベシ

一分銀ヲ除クノ外日本金銀貨幣ハ都テ此條例ニ準
スヘシ

第六條 右試驗溶解ノ上分析セシ金或ハ銀地金又

ハ金銀貨幣造幣不適當ナラハ之ヲ當人ニ返却シ試

驗溶解并分析ノ手数料ヲ納メシムヘシ

試驗溶解并分析ノ手数料ハ造幣寮ニヲイテ取究ム

ル定價ニ從テ納メシムヘシ

第七條 造幣寮ノ便宜ニヨリテハ造幣不適當ナル

金或ハ銀地金又ハ金銀貨幣ヲ唯精製ノ為メニ之ヲ

受取ルコトアルヘシ

但其高金地金ハ第三條銀地金ハ第四條ト同様タ

ルヘシ尤石精製料ハ造幣寮ニ於テ取極ムル定價

ニ從テ納メシムヘシ

第八條 造幣寮ニ於テ造幣ノ為メ金或ハ銀地金又ハ金銀貨幣請取濟ノ上ハ鑄造手数料ヲ引去リ第四條ニ照準シテ本位金貨又ハ一圓銀ヲ以テ其受取シ日ヨリ三十日間ニ拂フヘキ令状ヲ渡スヘシ

但右令状ノ高ハ日本人ハ大坂ニアル御用為替坐外國人ハ同所ナル日本政府ノ外國為替方オリエシタルバンク社中ニテ本又日限中ニ拂ヒ渡スヘシ

第九條 本位金貨鑄造ノ手数料ハ當分ノ内百ニ付一ナルヘシ

第十條 一圓銀鑄造ノ手数料ハ當分ノ内百ニ付二ナルヘシ

第十一條 金銀混合ノ地金在來二分金ノ類ハ五百ハ此部内ニ屬ス

オンストロイ凡四貫百四十目以上ノ高ナルハ造幣寮ニ於テ之ヲ預リ精製分拆ノ上其價ヲ定メテ後全ク之ヲ受取ヘシ

但右精製分拆料ノ定方ハ第七條ノ手續通タルヘシ
第十二條 磨損セシ本位金貨幣ハ千ニ付五一圓銀ハ千ニ付十ノ手数料ヲ差出ス上ハ其量目丈ノ價ヲ以テ再鑄ノ為メ之ヲ受取ヘシ

第十三條 一分銀ハ二千オンストロイ凡十六貫五百六十目墨西哥ドルラルハ百オンストロイ凡八百二十以上ノ高ナラハ再鑄ノ為メ各開港場ニオイテ之ヲ受取ルヘシ尤其他ノ金銀貨幣又ハ金或ハ銀地金ハ試驗溶解ノ上ナラテハ其品位定メ難ケレハ大坂造幣寮ニ

限り之ヲ受取ルヘレサレトモ所持人ノ望ニヨリ進
テ新貨幣ヲ拂ヒ渡ストキ異論ナキ為メ左ノ證書裏
面ニ記載セル造幣規則ノ下ヘ承諾ノ旨ヲ認メ自分
ノ姓名ヲ手記スレハ各開港場ニテモ之ヲ受取ルヘ
レ

第十四條 右受取方神戸横濱ニテハ日本人所持ノ
分ハ御用為替坐外國人ハ外國為替方オリエンタル
バンク社中ニ於テ取扱ヒ長崎箱館新潟ハ日本人外
國人共同上運上所ニ於テ取扱フヘシ

第十五條 大坂ヲ除クノ外各開港場ニテ日本及ヒ
外國貨幣又ハ金或ハ銀地金ヲ納メ造幣ヲ望ム者ハ
定日數三十日ノ外往返日數并運賃危難請負等左之
略表通心得ヘシ

地 名	神戸	横濱	長崎	新潟	箱館
往返日數	二日	十五日	十五日	四十五日	三十日
運賃并危難請負料	百ニ付〇、二五	百ニ付一、二五	百ニ付一、七五	百ニ付四、二五	百ニ付三、二五

第十六條 此規則實際試驗ノ上要用ト思フ廉アレ
ハ何時ニテモ猶改正追加スヘシ
但其節ハ運ニ其由ヲ布告スヘシ
右之通相定候事

明治四年辛未五月

大藏省

本位金貨幣 即二十圓十圓ノ中一圓金ヲ以テ原貨
ト定メ各種トモ何レノ拂方ニモ之ヲ用ヒ其高ニ
制限アル事ナレ

本位トハ貨幣ノ主本ニシテ他ノ準據トナルモ

通

ノナリ故ニ通用ノ際ニ制限ヲ立ルヲ要セス尤
 モ一圓金ヲ以テ本位中ノ原貨ト定ムルトハ就
 中一圓金ヲ以テ本位基本ヲ定メ他ノ四種ノ金
 貨モ都テ標準ヲ一圓金ニ取レハナリ
 定位ノ銀貨幣即五十錢二十錢十錢五錢ハ都テ補助ノ貨品ニ
 シテ其一種又ハ數種ヲ併セ用フルトモ一口ノ拂
 方ニ十圓ノ高ヲ限ルヘシ
 銅貨即一錢半ハ都テ一口ノ拂方ニ一圓ノ高ヲ限
 リ用フヘシ
 定位トハ本位貨幣ノ補助ニシテ制度ニヨリテ
 其價位ヲ定メラ融通ヲ資クルモノナリ故ニ通
 用ノ際コレカ制限ヲ設ケテ交通ノ定規トス
 各開港場貿易便利ノ為メ當分ノ内中外人民ノ望

用

制

限

ニ應シ一圓ノ銀貨ヲ鑄造シ之ヲ貿易銀トナシテ
 通商ノ融融ヲ資クヘシ
 此一圓銀ハ全各開港場輸出入物品其他外國人ヨ
 リ納ムル諸税又日本人外國人ト通商ノ取引ニ用
 ユルノミニシテ内地ノ諸税納方等公ナル拂方ニ
 用ユヘカラサルハ勿論其他一般ノ通用ヲ得サル
 ヘシサレトモ私ノ取引ニ付相對ノ示談ヲ以テ受
 取渡致ス分ハ何レノ地ニテモ勝手次第タルヘシ
 各開港場諸税受取方ニ付一圓銀ト本位金貨トノ
 價格比較ハ當分銀貨百圓ニ付本位金貨百〇一圓
 ノ割合タルヘシ
 通用制限ハ元來貨幣ニ原本ト補助トノ別アル所
 以ノ理ニ基キテ制定セシモノナレハ人々取引ノ

節右ノ制限ニ照準シモシ之ニ越レハ誰ニテモ請
取渡ヲ拒ムノ道理アルヘシサレトモ私ノ取引ニ
付便宜ノ為メ對談ヲ以テ請取渡致候儀ハ全ク相
互ノ都合ニ從フ筈ナレハ石制限ニ不拘勝手次第
ニ交通致不苦候事

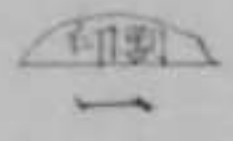
明治四年辛未五月

大藏省

受取證

證

于支何番
本位未定



一 金銀地金何斤

九積代價

此證書裏面ニ造幣規則ヲ
掲載ス

右之高裏面ニ記載スル造幣規則ニ從テ造幣ノ
為メ大坂造幣寮ニ送ルヘキニ付キ正ニ落手セ

書雛形

リ但新貨幣渡方ノ儀ハ造テ造幣寮ヨリ申越通
タルヘシ

年號于支月日

所持人名宛

姓名印

造テ試驗溶解ノ上造幣不適當ノ節ハ精製ヲ願フ
哉否豫レメ書面ヲ以テ申立置ヘシ